



## Updated Topics and Report (21<sup>st</sup> issue)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東広島医療センターの呼吸器グループは、広島中央医療圏において診療に携わっておられる先生方へ定期的に“**Updated Topics and Report**”をお届けしております。

当グループは地域医療機関の先生方から多くの患者さんをご紹介頂き診療実績を積み上げてまいりました。グループ全体として、先生方や地域住民に信頼していただける医療を今後も提供できるように診療レベルの向上に努めていくとともに、情報発信も行っていきたいと考えております。ご多忙中のところと存じますが、本誌を診療の合間などにお読みいただければ幸いです。

本号は、秋の学会シーズンなどにおいてさまざまな賞を受賞しましたので、それらの報告および発表内容の紹介をさせていただきます。

2024年1月

### ▶ 日本胸部外科学会において **Case Presentation Award 最優秀賞と優秀賞をダブル受賞**

胸部外科領域における国内最高峰の学会である上記学会において、当院から発表した演題2題が **Case Presentation Award** 呼吸器部門における最優秀賞および優秀賞を受賞しました。

最優秀賞を受賞した発表は、本誌第19号で報告した胸部外科学会地方会における最優秀賞演題として、日本胸部外科学会への発表を推薦された『**荒蕪肺による広範な肺膿瘍腔の開放+開窓術後に、胸膜肺全摘術と第2~9肋骨切除を伴う胸郭成形術を行った一例**』です。当院で長年蓄積された難治性感染病巣に対する治療経験に基づいて、複数診療科による協同手術で対応した症例の報告でした。今回、全国学会においても最も優秀な報告・発表であるとの評価を受けました。

JATS Case Presentation Awards	
最優秀演題	
▼ 眞鍋 克彦 君	(産業医科大学 呼吸器・胸部外科)
▼ 小田部 誠哉 君	(国立病院機構 東広島医療センター 呼吸器外科)
優秀演題	
▼ 梅村 太一 君	(金沢大学 呼吸器外科)
▼ 北崎 直 君	(東広島医療センター 消化器外科)
▼ 橋本 鉄平 君	(小倉記念病院 呼吸器外科)
▼ 三浦 隼 君	(神奈川県立がんセンター 呼吸器外科)

優秀演題としては、同じく胸部外科地方会から全国学会に推薦され発表した『**両側胸腔交通症 (バッファローチェスト) による同時性両側気胸の診断に至った一例**』が選出されました。まれな疾患である両側胸腔交通症を有した患者が気胸になった際には両側気胸となりえること、およびそれに対する治療戦略についての報告でした。

今回ダブル受賞となりましたが、名だたる大病院や大学病院などすべての施設を含めて当院のみが達成したまさに快挙であり、当院は全国の胸部外科医にトップレベルの施設として認識・注目されることとなりました。

## ▶ Asia Pacific Society of Respirology 2023 において Assembly Education Award を受賞

シンガポールで開催された上記国際学会で、平野耕一医師が発表した『**Clinical implication of**



**preoperative ninjinyoeito administration to patients planning**

**lung cancer surgery』**が APSR Assembly Education Award を

受賞しました。漢方薬の人参養栄湯を術前に3週間以上服用することで、免疫力やQOLのアップにつながることを、当院独自の前向き研究により解析した報告であり、国際学会においてその意義が大きく評価された発表となりました。

## ▶ 広島医学会において論文奨励賞を受賞

昨年度まで当院において初期臨床研修医として勤務していた小林昌央医師が、第76回広島医学会総会において「令和5年度論文奨励賞」を受賞しました。

若年男性に発生した肺腫瘍に関する論文で、極めてまれなケースに対する治療経験を報告（**広島医学 76巻4号、164-168、2023**）したものでした。



## ▶ 国立病院機構総合医学会において Best Poster 賞を受賞



第77回国立病院総合医学会において、初期研修医の角美里医師とリハビリテーション科：三浦彰悟主任による当グループからの発表がそれぞれのセッションで Best Poster 賞として表彰されました。

角医師は『**胸椎椎体傍に認められたミューラー管嚢胞の一切除例**』の発表で、閉経前後の女性において発生することが多いとされるまれな疾患の報告でした。

リハビリテーション科：三浦主任は『**地域連携で行う COPD 合併肺癌患者の周術期包括的リハビリテーションを開始して**』の演題で、入院時における周術期リハビリテーションのみで人員的にも手一杯である当院の現状を踏まえ、地域の病院と連携して術前・術後のリハビリを行う取り組みの報告でした。



東広島医療センター呼吸器グループは、最高レベルの医療を提供できるよう、充実したスタッフによる最良の診療を心掛けてまいります。また**原則としてご紹介いただいた患者さんは、ご紹介元の先生に逆紹介するよう心がけております**。東広島医療センター呼吸器グループに対するご意見・ご不満・ご質問・ご感想、またお知りになりたい情報等ございましたら担当医もしくは地域連携室までご連絡ください（地域連携室 FAX：082-493-6488）。